

2026年度 受講者募集要項

本講は、公益社団法人日本山岳ガイド協会認定養成指導者である日本ガイド養成研究会が、登山ガイド自然ガイド職能資格の検定試験を受験する方々を対象としたガイド養成講座です。この養成指導コースでは「検定免除の適用される検定」を実施いたします。

- 1) 主催： 日本ガイド養成研究会（公益社団法人日本山岳ガイド協会認定養成指導者）
- 2) 主管： 東京山岳ガイド協会
- 3) 概要：

第1回 【無雪期】	日程 開催地 内容 受講料	2026年9月4日（金）～6日（日） 2泊3日 神奈川県丹沢周辺 無雪期登山道ルートガイディング（受験者のための免除推薦適用検定あり） 受講料：46,000円
第2回 【無雪期】	日程 開催地 内容 受講料	2026年10月23日（金）～10月25日（月） 2泊3日 神奈川県丹沢周辺 無雪期登山道ルートガイディング（受験者のための免除推薦適用検定あり） 受講料：46,000円
第3回 【積雪期】	日程 開催地 内容 受講料	2027年2月5日（金）～8日（月） 3泊4日 群馬県谷川岳湯檜曾川周辺 積雪期登山道ルートガイディング（受験者のための免除推薦適用検定あり） 受講料：60,000円
第4回 【積雪期】	日程 開催地 内容 受講料	2027年3月12日（金）～15日（月） 3泊4日 群馬県谷川岳湯檜曾川周辺 積雪期登山道ルートガイディング（受験者のための免除推薦適用検定あり） 受講料：60,000円
受注型	内容 受講料	無雪期登山道ルートガイディング または 積雪期登山道ルートガイディングの受験者のための指導と免除推薦適用検定を、ご希望の日程（無雪期は2泊3日、積雪期は3泊4日）で行う オーダーメイドプラン です。受講料はお見積りいたします。

※開催10日前が申込み受付期限です。

※日程・開催地は変更することがありますので、申込み時に再度ご確認ください。

※集合地までと解散地からの交通費、宿泊費、食費は受講者負担です。

※当会は、養成指導コースで実施した検定に合格した方を、公益社団法人日本山岳ガイド協会が実施する職能別資格検定試験の当該科目の受験に際して、「認定養成指導者による同等の検定に合格した者」として推薦します。この「推薦」を利用して公益社団法人日本山岳ガイド協会が実施する職能別資格検定試験の当該科目の「免除」を希望する方は、公益社団法人日本山岳ガイド協会指定の検定免除申請書を当会宛てにお送りください。推薦欄に推薦内容を記載してご返送いたします。

- 4) 募集対象： 公益社団法人日本山岳ガイド協会職能別資格検定試験受験予定者
山岳スポーツ指導者 野外体験活動指導者 など
- 5) 募集人員： 各講座 先着10名（最少開催人員は4名といたします）
- 6) 詳細： 開催に関する詳細は各講座ごとに最終案内書でお知らせいたします。
- 7) 受講申込： 事務局宛てにメールで申込書フォーマットをご請求下さい。

8) お問い合わせ： 日本ガイド養成研究会事務局（東京山岳ガイド協会事務局内）
メール：tokyomountainguide@gmail.com 電話 090 3237 3943

9) 装備について：

※容量重量共に工夫し、次頁の装備表に記載した一式をすべて持参してください。
※装備に不備があと、検定評価対象以外のものであっても、減点の対象になることがあります。

顧客配布用ガイド資料について：

開催日の3日前までに PDF ファイルをメール添付して提出してください。当日はプリントアウトしたものを2部持参してください。

ガイドに相応しい服装：

開催地の気候・地理に合うもので職業人として清潔感があるものを指します。

検定日の昼食：

行動食として各自で工夫してください。

国土地理院 25000 分の 1 地形図：

- ・群馬県谷川湯檜曾川周辺で開催の場合は「茂倉岳」と「水上」の2枚
 - ・神奈川県丹沢周辺で開催の場合は「大山」と「秦野」の2枚
- を、持参してください。

また、予め磁北線を引いておいてください。

【装備一覧表 登山ガイド受験者の装備】

	品名	数量	備考
一般装備	リュックサック	1	40ℓ程度以上 背負搬送の荷重に耐えられる強度のもの
	ガイドに相応しい服装	適量	
	登山靴	1	
	雨具	1	
	防水スタッフバック	適量	ザック内の全装備を入れられる容量のもの
	ツールナイフ	1	ロープをカットしたり、様々な用途で使用できる万能タイプで、携行に適しているもの
	サングラス	1	
	ヘッドランプ	1～	顧客用予備も含めて複数
	ツエルト	1	床130×210cm（間口×奥行）程度以上 ※小さいものは不可
	地図およびルート図	適量	検定エリアの国土地理院1/25000地形図を持参すること。磁北線を引いておく。 ルート図は、見やすいと思うもの、広域と詳細があるとよい。 地形図コピー併用可。スマートホン等のアプリ及びGPSは使用不可。 ※検定地の地形図については、集案案内資料にて指定する
	時計	1	
	プレートコンパス	1	
	高度計	1	腕時計タイプで可
	ファーストエイドキット	1セット	テーピングテープ（38mm幅）、暑いときは熱中症対策、寒いときは低体温症対策を加えること
	バーナー&燃料+クッカー	1	非常時用
	ライター	1	着火できるものであれば可
	ストック	1	顧客の非常時用
	ホイッスル	1	ザック付の物は不可
	検定地域のガイド用資料	適量	図鑑・観察用具等 ※ルートガイディング検定のみ
	顧客配布用ガイド資料	2部	検定地域において、任意設定したルートでの顧客向け資料。自分用と検定員への提出用 ※ルートガイディング検定のみ
	水筒	1	真水を含めること
	保温ポット	1	
行動用食糧	適量		
ビニール袋	適量	ごみ処理用等	
トイレトペーパー	適量		
筆記用具	1		
健康保険証	1		
専門装備	品名		備考
	登山用ロープ	1	UIAA規格 シングルまたはハーフのクライミングロープ30m以上、または UIAA規格 スタティックロープ 30m以上も可 ロープ径については規定しないが概ね8～9mmφ前後で自分の手のサイズになじむもの。
	HMS安全環付カラビナ	3	CE規格品 ロックシステムはスクリュウロックであること
	反転防止機能付HMSカラビナ	1	CE規格品 ロックシステムはスクリュウロックであること
	カラビナ	2枚以上	CE規格品 オフセットD、スタンダードD
	ソウンスリング150～180cm	1	CE規格品 危急時の背負搬送、お助け紐などに使用することが多いので幅広いナイロンタイプが望ましい。
	ソウンスリング120cm	2	CE規格品 強度、携行、鎖場での使用等考えるとダイニーマ製の細身のソウンスリングが望ましい。
	ソウンスリング60cm	2	CE規格品 強度、携行、鎖場での使用等考えるとダイニーマ製の細身のソウンスリングが望ましい。
	ブルージックコード	1	引き上げシステムの構築に使用する。熱により強い素材（アラミド素材等）のものが望ましい。
	セルフジャミングブリー	任意	CE規格 引き上げシステムの構築に使用する。セルフジャミング機能付であること。携行に便利な小型なもの推奨。オーバルカラビナとセットで装備する
皮手袋(ロープワーク用)	1	操作性、耐久性を考慮すること。	
登山用ハーネス	1	CE規格品 セパレートタイプ、ダイアパータイプがある。ダイアパータイプ=レックループをク イックバックルなどで固定・解除が容易にできるため、クランボン、スノーシュー(ワカン)等を装着 したまま着脱ができる。軽量、コンパクト。 実技検定ではどちらを使用しても構わないが、ダイア パータイプを推奨する。 必要時に、ビレイループに、反転防止機能付HMSカラビナ装着するこ と	
登山用ヘルメット	1	CE規格品 自分の頭部サイズに合ったものを選ぶこと。	
雪山装備 ※積雪期のみ	品名		備考
	冬季用登山靴	1	無雪期用の登山靴は不要
	冬季用アウター・パンツ	1	検定地の天候に応じた、雪上の活動に相応しい服装（上・下）
	ゲーター	1	雪の侵入を防ぐもの。ゲーター付き冬用登山靴でも可
	防寒具	適量	防風防寒着、ニット帽、バラクラバ、ネックウォーマー、手袋等
	ゴーグル・サングラス	各1～	予備も持参すること
	ピーコン	1	アンテナ3本内蔵のもの
	プローブ	1	長さ2.4～3m推奨
	スノーシャベル	1	携行に向けたもの。雪崩対策に適しているもの。
	スノーソー	1	刃渡り30cm以上。
	ピッケル	1	縦走用のもの。ピッケルバンド装着も可。カバーを付けて携行すること
	アイゼン	1	縦走用10～12本爪
	スノーシュー	1	起伏のある山岳エリアで有効なものを持参。当該検定エリアでは必須とする。
	ストック	1セット	スノーバスケット装着すること
ワカン	任意	当該検定エリアで有効と思えば持参のこと	

【装備一覧表 自然ガイド受験者の装備】

	品名	数量	備考
一般装備	ガイドに相応しい服装	1式	
	登山靴	1	
	雨具	1	
	リュックサック	1	40%程度以上 背負搬送の荷重に耐えられる強度のもの
	防水スタッフバック	適量	ザック内の全装備を入れられる容量のもの
	ツールナイフ	1	ロープをカットしたり、様々な用途で使用できる万能タイプで、携行に適しているもの
	サングラス	1	
	ヘッドランプ	適量	顧客用予備も含めて複数
	ツエルト	1	床130×210cm（間口×奥行）程度以上 ※小さいものは不可
	地形図およびルート図		検定地エリアの国土地理院1/25000地形図を持参すること。磁北線を引いておく。 ルート図は、見やすいと思うもの、広域と詳細があるとよい。 地形図コピー併用可。スマートホン等のアプリ及びGPSは使用不可。 ※検定地の地形図については、集案案内資料にて指定する
	時計	1	
	プレートコンパス	1	
	高度計	1	腕時計タイプで可
	ファーストエイドキット	1セット	テーピングテープ（38mm幅）、暑いときは熱中症対策、寒いときは低体温症対策を加えること
	バーナー&燃料+クッカー	1セット	非常時用
	ライター	1	着火できるものであれば可
	ストック	1セット	顧客の非常時用
	ホイッスル	1	ザック付の物は不可
	検定地域のガイド用資料	適量	図鑑・観察用具等 ※ルートガイディング検定のみ
	顧客配布用ガイド資料	2	検定地域において、任意設定したルートでの顧客向け資料。自分用と検定員への提出用 ※ルートガイディング検定のみ
	水筒（真水を含めること）	適量	
	保温ポット	1	
	行動用食糧	適量	
ビニール袋	適量	ごみ処理用等	
トイレットペーパー	適量		
筆記用具	1		
健康保険証	1		
専門装備	品名		備考
	登山用ロープ	1	UIAA規格 シングルまたはハーフのクライミングロープ30m以上、または UIAA規格 スタティックロープ 30m以上も可 ロープ径については規定しないが概ね8~9mmΦ前後で自分の手のサイズになじむもの。
	安全環付カラビナ	3	CE規格品 1枚はHMS型（スクリュロック）
	カラビナ	2	CE規格品
	ソウンスリング150~180cm	1	CE規格品 危急時の背負搬送、お助け紐などに使用することが多いので幅広が目ましい
	ソウンスリング120cm	2	CE規格品
	ソウンスリング60cm	2	CE規格品
	皮手袋(ロープワーク用)	1双	操作性、耐久性を考慮すること。
	登山用ハーネス	1	CE規格品 ダイアバータイプが目ましい
雪山装備 ※積雪期のみ	品名		備考
	冬季用登山靴	1	冬季用防寒靴でも可（ただし軽アイゼンを装着できるもの）、無雪期用の登山靴は不要
	冬季用服装	1式	検定地の天候に応じた、雪上の活動に相応しい服装（上・下）
	スパッツ（ゲーター）	1	雪の侵入を防ぐもの。ゲーター付き登山靴でも可。
	防寒具	適量	顧客用予備含む（ニット帽、バラクラバ、ネックウォーマー、手袋等）
	スノーシャベル	1	携行に向けたもの。雪崩対策に適しているもの。
	アイゼン	1	6本爪以上の軽アイゼン。チェーンアイゼンは不可。
	スノーシュー	1	山岳用またはハイキング用を推奨
ストック	1セット	スノーバスケツト装着すること	